

京大広報

No. 91

京都大学広報委員会

次期総長に岡本道雄教授を選出



現総長の任期満了（12月15日）に伴う次期総長候補者の選考が11月18日に行われ、その結果、医学部の岡本道雄教授が選ばれた。

総長候補者の選考は、選挙資格者による選挙の結果に基づいて評議会で行われること

になっているが、選挙資格者は、京都大学総長選考基準の一部改正（昭和48年10月16日）により、第1次投票では2,342名、第2次投票以降では1,270名であり、選挙は、11月12日（月）9時から17日（土）正午までの郵便による投票と11月17日、18日両日の各部局ごとの投票所における投票とで行われ、また開票は、薬学部講堂に設けられた開票所で行われた。

1 第1次投票

投票所における投票は、11月17日13時から14時まで行われ、投票者数1,516名、所定期間内の郵便による投票者数106名、計1,622名であった。

この投票は、2名連記で、投票総数3,244票、うち有効投票3,000票、無効投票244票であり、次の15名が第1次総長候補者に選ばれた。

会 田 雄 次
井 上 健
岡 本 道 雄
河 野 健 二
近 藤 文 治
沢 田 敏 男
島 恭 彦
杉 村 敏 正
田 畑 茂二郎

高 村 仁 一
富 田 和 久
福 井 謙 一
前 田 敏 男
森 主 一
森 本 正 紀

（五十音順）

2 第2次投票

第2次投票は、11月18日9時から10時まで、単記で、15名の第1次総長候補者について行われ、投票総数925票、うち有効投票919票、無効投票6票で、次の3名が第2次総長候補者に選ばれた。

岡 本 道 雄
前 田 敏 男
田 畑 茂二郎

（得票順）

3 第3次投票

第3次投票は、同日12時から13時まで、単記で、3名の第2次総長候補者について行われ、投票総数954票、うち有効投票945票、無効投票9票で、候補者別の得票数は次のとおりであった。

岡 本 道 雄 515票
前 田 敏 男 238票
田 畑 茂二郎 192票

上記の結果、岡本道雄教授が得票過半数で第3次総長候補者に選ばれた。

4 選考

評議会は、このあと14時45分から開催され、上記の選挙の結果に基づき、総長候補者として岡本道雄教授を選考し、同氏はこれを受諾した。

岡本道雄教授の略歴

本籍 京都府 大正2年11月25日生

昭和16年3月 京都帝国大学医学部卒業
 昭和16年4月 京都帝国大学医学部副手
 昭和16年5月 京都帝国大学医学部助手
 昭和20年9月 京都帝国大学附属医学専門部
 講師
 昭和21年3月 京都帝国大学医学部講師
 昭和22年8月 京都帝国大学医学部助教授
 昭和26年9月 三重県立医科大学教授（昭和
 33年6月まで）
 昭和27年4月 三重県立大学医学部教授（同
 上）
 昭和30年10月 神戸医科大学教授
 昭和34年12月 京都大学医学部教授（現在）
 （解剖学第一講座）
 昭和43年4月 京都大学学生部長（昭和44年
 4月まで）
 昭和44年8月 京都大学医学部長事務取扱
 昭和45年9月 京都大学医学部長（現在）

教養部特別委員会報告書について

昭和48年6月，教養部特別委員会報告書（下記の目次参照）が教授会に提出された。この報告書

が作成されるにいたった経過は同書の「はしがき」に述べられているとおりである。教養部が全学の中で占めている位置の関係上，この報告書が教養部以外の他の部局においても広く読まれることが望ましいと考え，近く京大広報別刷として配布していただくようお願いした。教養部および教養課程に関する諸問題についてお考えいただく際，この報告書を参考資料としてお役立てくださればさいわいである。

昭和48年11月20日

教養部長 東 慎之介
 記

教養部特別委員会報告書 目次

は し が き

- I 一般教育の導入と実施の経過ならびにその問題点
- II 本学教養部の成立と歴史
 参考資料：久米直之「京都帝国大学と第三高等学校との合同」
- III 本学教養部の研究・教育条件の現状についての資料と解説
- IV 教養課程および教養部に対する人びとの態度